

「はい、注目！この度、風紀委員だった上岡は肉便器委員に変わる事になった」

「くっ、何故このような……」



「皆「これから上岡と『仲良く』してやれよ」

「い、嫌！やめなさ…」

「肉便器委員なんだから
まともな服着てんじやねーよ」



「ノーパンノーブラとかやられる気満々じゃん」
「こ、これは決まりで仕方なく…」

ピッ
ピッ
ピッ

「オラっ！股閉じてないで開けよ」

「うっ…」

「おっぱいはこんなに大きいのに
下の毛はツルツルかよく剃ってるの？」

「…、これは全然生えてこないせいで…」



「まんこは追々やるとして、
まずは恥ずかしいおっぱいにつけるための
肉便器委員のピアス用の穴を開ようね」
「ひ、ひぎい！」

「うへえ、痛そう」

「でっかいおっぱいに合わせて特大サイズだもんな」



ブ
ス
ッ

「でっかい乳首にピッタリのピアス付けようね」

「い、痛っ!」



「後でクリトリスにもつけようね」

「ち、乳首の中が…」

「ああっ、中で震えて…あ、足が…」

「上岡さんこんな胸しといて処女だったのかよ」

「初体験がバイブとか、
まあ肉便器にはちようどいいんじゃない？」



「嫌！見ないで！も、漏れ……！」

「うわっ漏らしやがった」

「便器が小便漏らしてちや世話無いわな」

「う……お、おっぱいまで……」



「次の授業は体育だし
着替え前に更衣室で
皆で一発やろうぜ」

「こんな格好で外なんて誰かに見られたら…」



「さっ、とりあえず横になれや」

「痛っ、乱暴なことしないでよ!」

「時間ないしさっさとやろっぜ」



「尻毛も生えてないんだな」

「うっ、さ、触らないでよー!」

「窮屈そうだな尻だな」



「ちょっとほぐしてやるよ」

「ひぎっ！」

「痛っ、あんまり締め付けないよ」

ズボッ



「くっさー！うーわ、指にウンコついた」

「臭いなあ、昨日何食ったんだよ」

「き、昨日はカレーを…」

おん



「腹の中浣腸で洗浄して
臭いウンコ全部出しちまおうぜ」

「あっ！っ、冷たっ！」



「おっ、お腹が…と、トイレ行かせて…」

ぎゅるるるる

「流石に3本ぶんも入れたら腹パンパンだな」

「おーい、いつまでやってんだ
もう授業始めるぞー」



「やべえ！急がなきや」

「チエツ、上岡がチンタラしてるせいで
ヤリそこねたじゃねーか」

「うっ…うんちが…でっ…でそう…」

「栓してやるから行くぞ」

「いっ…いっ…いっ…」



「おっ、上岡は肉便器委員用の
体操服か、似合ってるぞ」

「うっ…こんなハレン
チな格好…」

「それじゃ授業はじめるぞ
今日の授業は野球だ」

「うーっす！」



「上岡の腹たぶんたぶんじゃん」

「お、お尻からヘンな物沢山入れるからでしょ！」

たぶん

たぶん



「それじゃあ始めるか、上岡はボール役な」

「えっ！ま、まさかそれをお腹に…」

「尻の栓抜いたらホームランな」



「オラっ！」

「こねこー」

「はあ……はあ……お、
で、出そう……や、
お腹が……
やめ……」

「ダメでやんすねえ、
野球部のオイラに貸してみるでやんす」

「おお、野球部のキャプテンの振り方みせて貰うか」





ブチブチ

「フンガー！」

「ああでっ！」

ブリブリ

ブリブリ

「おおーっ、流石野球部」

「うーわ臭っ!」

「んっんだメっ止まらない!」

「ぞっこんなもんでやんす」



「汚れるから脱糞うんこちゃんのズボンは脱がしてあげるよ」

「あつ！や…み、見るな」

「うわっ臭っ！上岡、ちやんと片付けしとけよ」

「うっ、うっ、ごめんなさい」



昼休み

食堂にて

(やった!今日は唐揚げね)



「あ、上岡先輩チーツス」

「あ、差須くん。み、見ないでよ」

「先輩風紀委員から肉便器委員になったツスもんね」



「肉便器委員就任祝いに
特製ソースかけてあげますよ」

「えっ！嫌っ！いらないうってー！」

「好き嫌いはダメですよ」



「うっ、出る！」

「あっ…せ、折角の唐揚げが…」



「おっ、差須。何やってんの？」

「ああ、肉便器委員になった先輩のために
ごはんの特製ソースかけてあげてたんすよ」

「お、そりやいいな。俺もかけてやるよ」

「嫌っ！や、やめな……」



「ち……う……」

「出るっ…!」

「早っ…!」

「上岡がこんなおっぱいしてるのが悪いだろ」
「そうッスね」
「ああ…私のごはん…」



「ほらほら先輩食べてくださいよ
肉便器委員が精液拒否とかお仕置きですよ」

「うっ…苦っ…臭…」

「ちやーんと残さず全部食べるよ」

「…」



放課後

男子トイレ

(んっ…まあおっぱいはいいなら…)

「この胸のサイズは迫力あるよなあ」

「すげえ締め付けてくるぜ重量感すげえわ」



「終わったたら次変われよ」

「まだまだ待ってるんだからな」

「ほら、終わったんだから退いてよ」

「いや、まだ収まらないからもう一回頼むわ」



「もう待ってられねえよ」

「もう複数一遍にでもいいんじゃね」

「えっ!?! 3人も一遍に出来るわけないじゃない!」



「ほら、乳首に入れりゃいいんだよ」

「い、痛っ!」

「なるほど、結構これも気持ち良いな」





「ひゃあっ!」

「出るっ!」 「ああっ!」

「うっ…乳首の中がヌメヌメする…」

「ふう…抜いた抜いた」

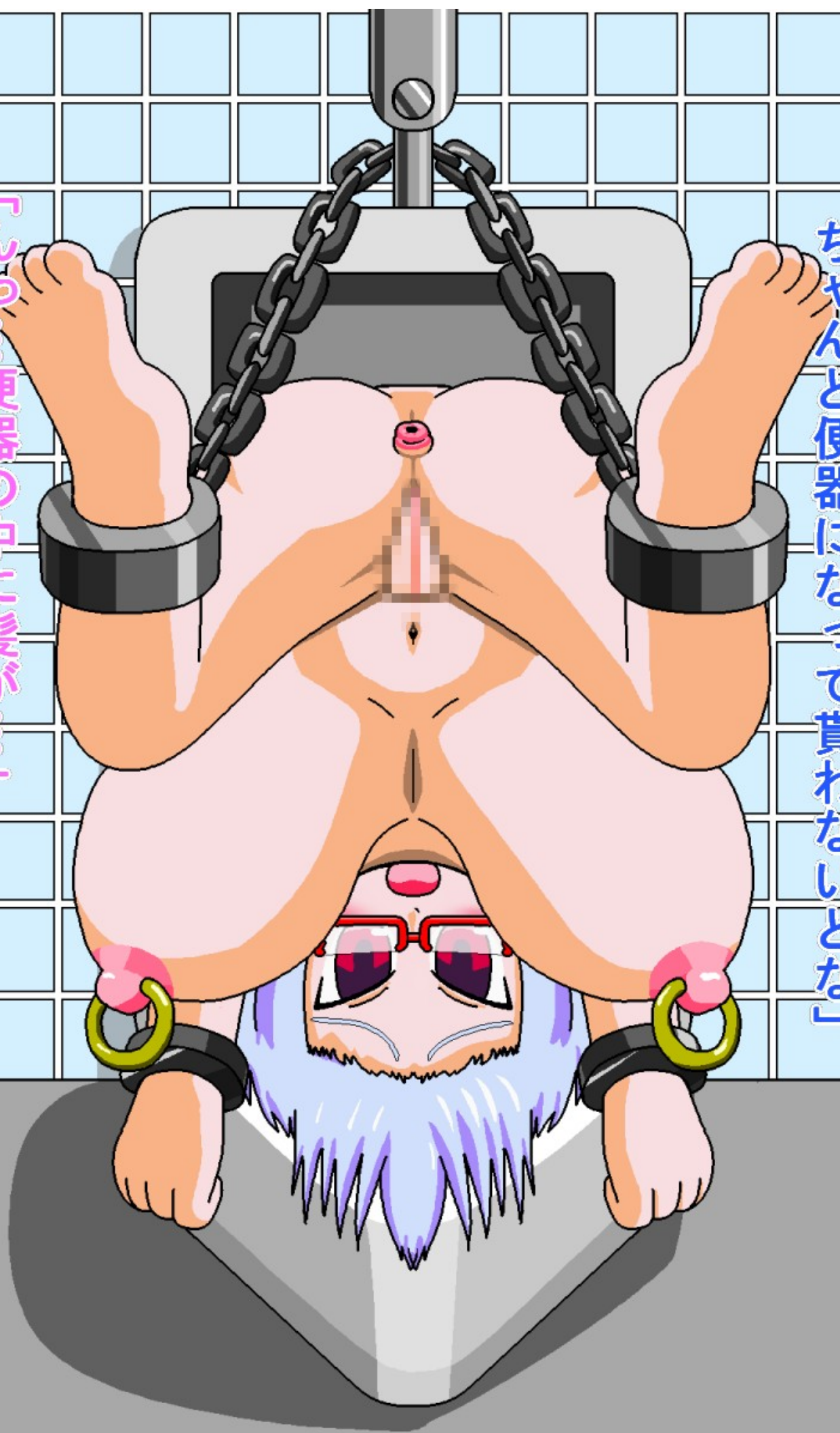
「次は俺も乳首試してみようかな」

「お前はパイズリ独占しすぎなんだよ」



「肉便器委員なんだから
ちやんと便器になって貰わないとな」

「んっ…便器の中に髪が…」

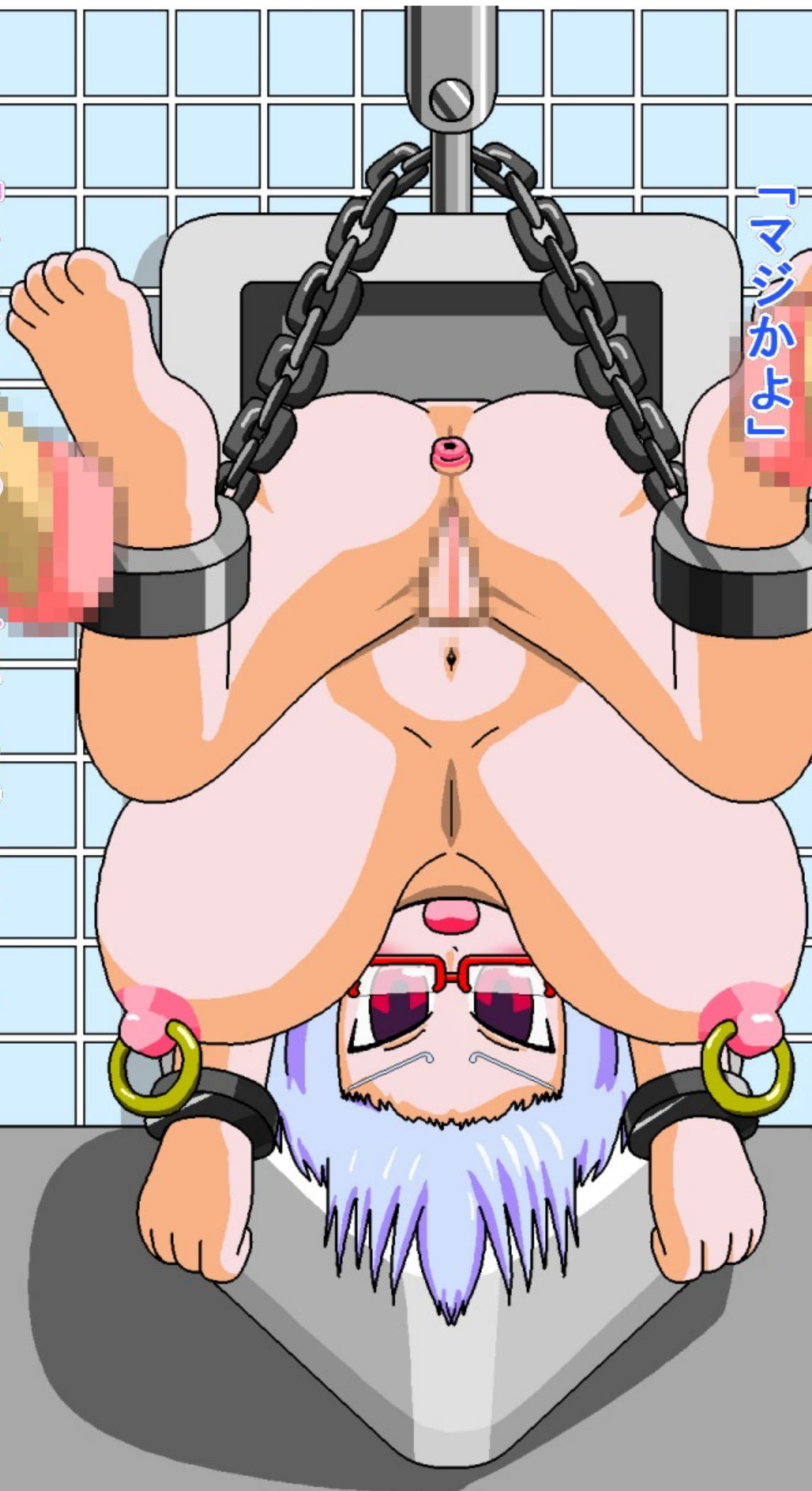


「いった後はシヨンベンしたくなるよな」

「わかる、健康には悪いらしいけどな」

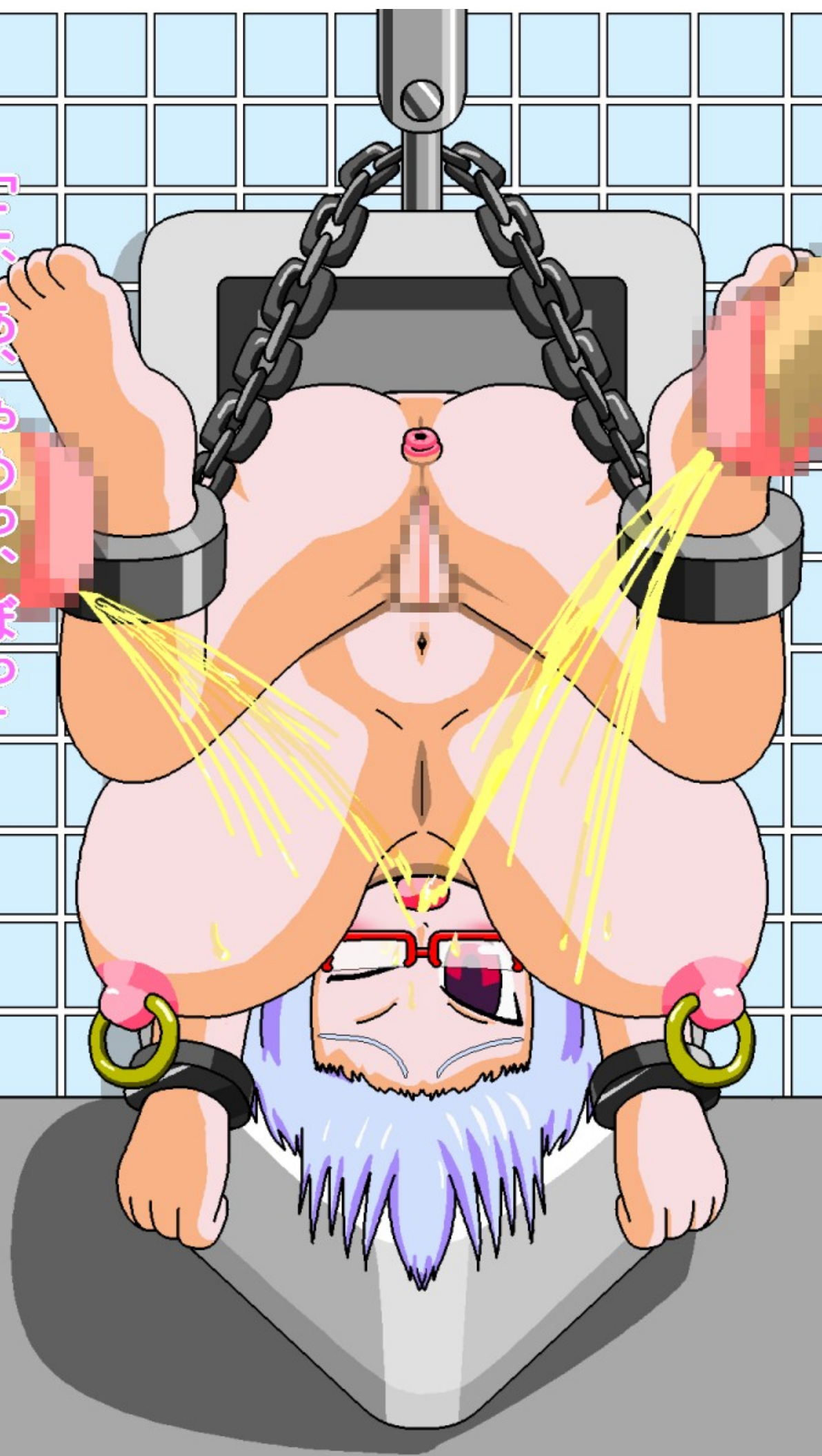
「マジかよ」

「ちよ、ちよつと！何するつもり！」



「ほら、ちやんと全部飲めよ」

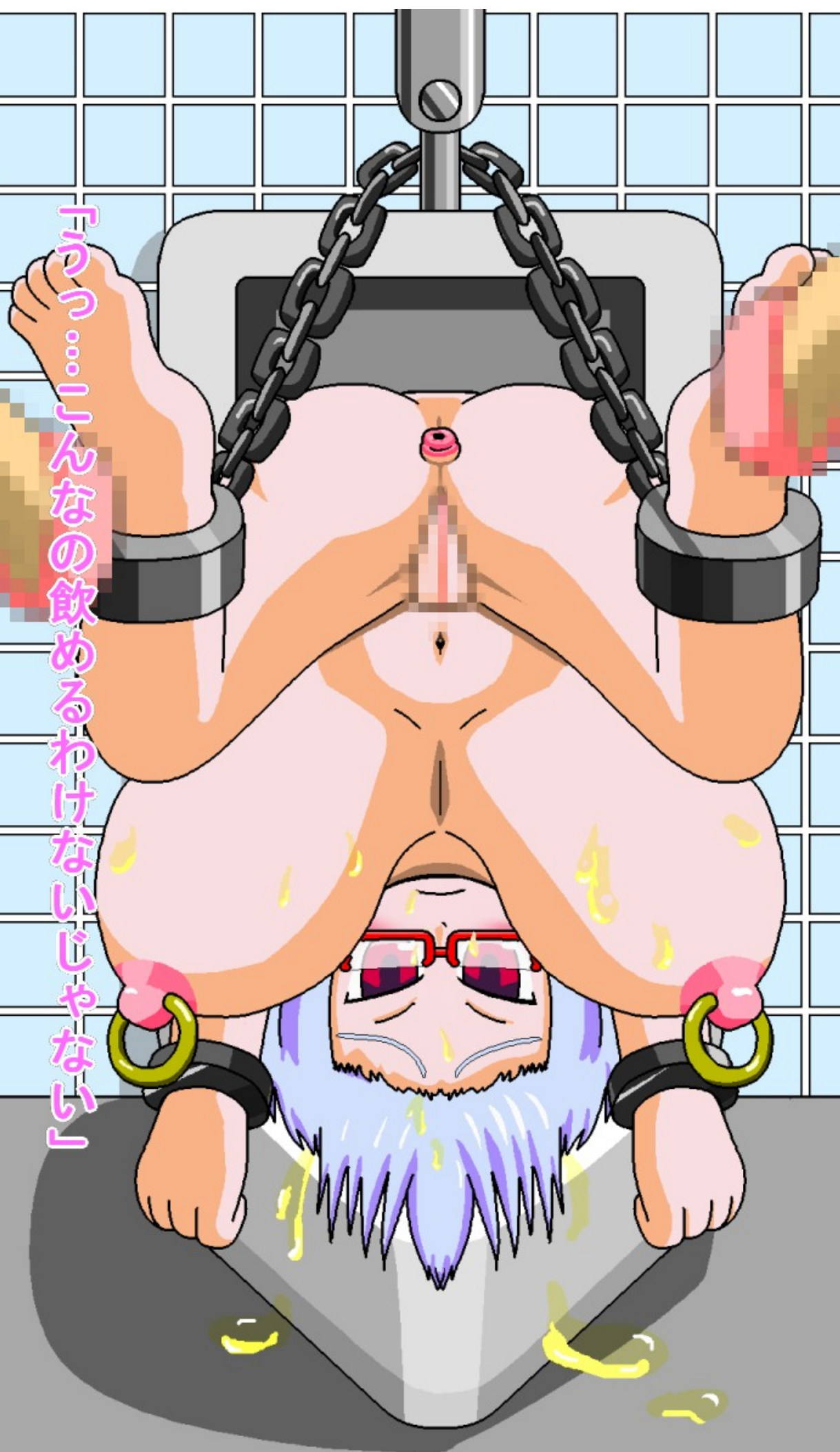
「い、あ、やめっ、ぼっ」



「ちゃんと飲めって言ったのにだだ漏れじゃん」

「うっ……こんなの飲めるわけないじゃない」

「汚れたの後に掃除しとけよな」



（んっ……こんどは洋式のほうね、逆さ吊りよりマシだけど）

「おう、暇だから抜きにきたぞー」



「上岡っておっぱいに目がいくけど
尻もかなりデカいよな」

「痛っ！お尻揉まないでよ！」





「痛っ！やめてっ！」

「じゃあ揉まない代わりに叩くわ」



「うっっ…お尻ヒリヒリする…」

「それじゃあマンコ使わせて貰おうかね」


「えっ、嫌！生は…」



「いぢりー!」

「嫌々言いつつすんなり入るじゃねーか」





「今日始めたばかりの割には緩いな
元風紀委員なのにオナニーよくやってんの？」

「や…そ、そんなこと…」

「ふーん、ま、どっちでもいいか。そろそろ出すぞ」

「え？嫌っ！そ、外に…」

「んんん」

「あっ……」



「ふう…ちゃんと使用回数書いとかないとな」

「あっ…中に…赤ちゃん出来たらどうするのよ…」

「別に肉便器委員だからいいだろ」



うっ…結局23回も出された…

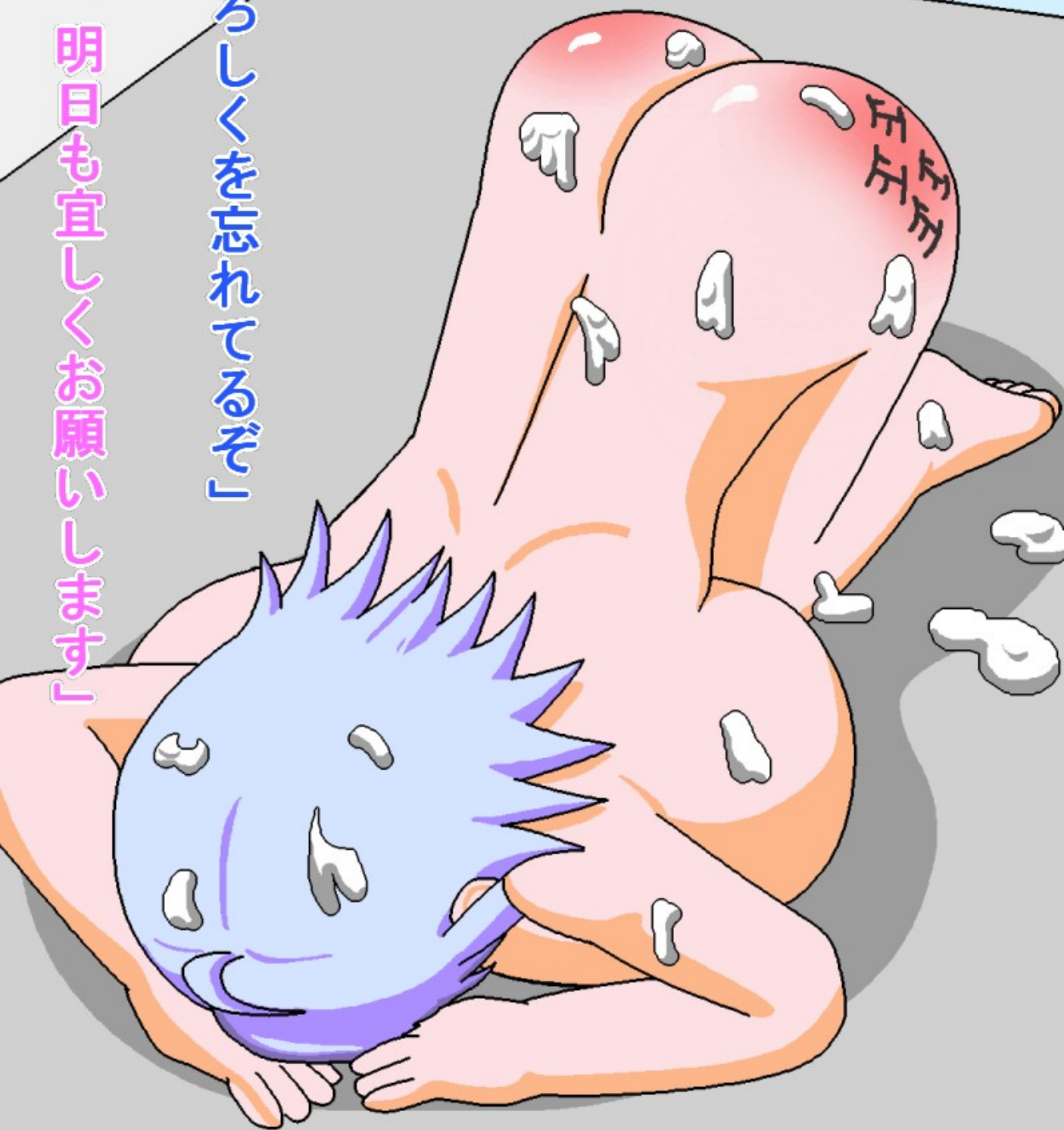
「ほら、肉便器委員は使ってもらったら
ちやんと御礼言わなきゃダメだろ」



「くっ…使っていたいただきありがとうございますとぅ」ぞいしました」

「明日もよろしくを忘れてるぞ」

「うっ…あ、明日も宜しくお願いします」



「じゃあ電気消して帰るか」

「俺らが帰るまで顔上げんじゃねーぞ」

「.....んんん.....」

